

## 単元名 伝え合いたい思い(工作)

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 思いが伝わる形や色を見付け、材料や用具を活用して工夫して作品を表すことができる。  
 (2) 自分の好きな場所についての思いや伝えたいことを、どのように表すか考えるとともに、友達や自分の作品から、自分の見方や感じ方を深めることができる。  
 (3) 思いを伝えるプレートをつくる活動に、主体的に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

05080303\_001

【準備等】 板材、段ボール、針金、ひも、くぎ、金づち、きり、クランプ、のこぎり、電動糸のこぎり、木工用接着剤、水溶性ニス、はけ、水彩用具一式、サンドペーパー、ヒートン、彫刻刀、カッターナイフ、カッターマット、サインペン

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 教科書の参考作品を見て、学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参考作品を見て、学校の案内板をつくることを知る。             <ul style="list-style-type: none"> <li>放送室や音楽室など、特別教室の案内板</li> </ul> </li> <li>★学校の案内板をつくろう</li> <li>つくる手順を知る。</li> <li>つくりたい案内板について、話し合う。             <ul style="list-style-type: none"> <li>部屋や場所の特徴</li> </ul> </li> <li>部屋や場所の特徴が伝わるように、案内板の構想を練る</li> <li>案内板のスケッチをする。</li> </ul> <p>2～4 スケッチに基づいて、つくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>板に下絵をかく。</li> <li>下絵に合わせて板の周りを切る。</li> <li>サンドペーパーをかける。</li> <li>彩色する。</li> <li>ニスをぬって完成する。</li> </ul> <p>5 友達の作品を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現の工夫を作品カードに記入し、発表する。</li> <li>友達の作品のよさをみんなで話し合う。             <ul style="list-style-type: none"> <li>本からいろいろなお話が飛び出すような作品で、大きな図書館が表現されていました。</li> <li>楽しく歌ったり演奏したりする音が聞こえる音楽室が音符などで表されていました。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 5・6 上 P.52, 53</li> <li>参考作品を見て、案内板には、何をする場所か分かる工夫がしてあることに気付かせる。</li> <li>スケッチから彩色までの手順を説明して、活動の見通しをもたせる。</li> <li>学校の中にある部屋や場所を挙げさせ、場所の特徴について、できるだけ多くの意見を出させる。</li> <li>部屋や場所の特徴や使う人の願いを考え、案内板や文字の形や色を考えさせる。</li> <li>簡単なスケッチを数枚かかせ、場所の特徴が明確で形のよいもの一つ選ばせる。</li> <li>【評】場所に適した案内板の形や色の構想を練る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>無駄のない板の使い方を考えて、形を板いっぱいに写させる。</li> <li>電動糸のこぎりについては既習しているが、再度使い方の確認をする。(P.20, 21「糸のこすいすい」展開例 参照)</li> <li>児童の実態に合わせ、彫刻刀を使って線彫りや浮き彫りをさせてもよい。</li> <li>サンドペーパーで磨き過ぎて、山がつぶれないように注意させる。</li> <li>作品全体の雰囲気を考えて彩色させる。</li> <li>野外に設置する場合は、耐水性絵の具を使用する。</li> <li>水の量を少なめにし、発色よく塗らせる。</li> <li>【評】楽しく分かりやすい案内板になるような形や色で表す活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>ニスを厚く塗りすぎないことを伝える。</li> <li>【評】材料や用具を活用し、制作を楽しむ活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>実際に特別教室などの案内表示にし、他学年の児童も鑑賞できるようにしてもよい。</li> <li>他学年の児童をまねき、看板を見せながら学校案内をさせてもよい。</li> <li>つくるときに工夫したことなどを記入させ、発表させる。</li> <li>表した意図や表し方の特徴などについて話し合わせる。</li> <li>【評】友達の作品を鑑賞し、工夫やよさを感じ取る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>【評】これまでの学習活動や作品を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> </ul>

## 【 備 考 】

特別の教科道徳との関連について

「B- (11) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心をもち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること」「C- (16) 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくる」とともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実努めること」などと関連が深い。活動を通して、感じたことや考えたことから道徳の学習につなげることや、道徳の学習で感じたことなどを表現につなげることも考えられる。